

第2回 公共施設再配置ワークショップ広報便

～ みんなで考え、みんなで作る、公共施設のこれから ～

公共施設の再配置について、町民の皆さんのアイデアを町への提言としてまとめるため、計4回のワークショップの開催を予定しています。

10月1日（土）に、その第2回目のワークショップを開催しましたので当日の様子やその内容を報告します。（参加者19名）

第2回テーマ：公共施設の再配置を体験してみよう！



1 公共施設マネジメントシミュレーションゲーム

(1) 目的・内容

目的

対話型で行う公共施設再配置シミュレーションゲームを通じて、屋久島町の将来について考えるきっかけとします。

内容

参加者が架空の自治体の課長となり、刻々と変化する社会状況を踏まえつつ、限られた予算のなかで、対話をしながら公共施設の将来のあり方を決定し、議会へ説明する体験をします。

(2) 当日のルール

- ・参加者は架空のまち「やくすぎ町」の課長に任命されました。
- ・将来に向けて公共施設面積20%削減を目標に、公共施設のあり方を検討します。
- ・限られた時間の中で将来（30年先）を見越した施設再編案を作成してください。
- ・社会状況の変化を疑似体験するため、各ラウンドの間で実施しないといけないイベントが複数発生します。それらのイベントへの対応も踏まえて施設再編案を考えてください。

2 シミュレーションゲーム結果

グループ	施設削減面積	施設削減率
A	19,500㎡	18.6%
B	16,000㎡	15.3%
C	21,500㎡	20.5%

施設削減目標を達成できないチームもありましたが、架空のまちながら白熱した議論をすることができました。

3 参加者の感想

- ・公共施設について考えるいい機会になった。
- ・楽しくゲームに参加することができた。
- ・地域性とニーズを両立することは難しい。
- ・将来の社会を見越した投資や方向性の決定が重要。
- ・公共施設の再配置について、何度も話し合う必要があると感じた。
- ・町が所有する施設について、初めて知るものも多かった。
- ・公共施設の在り方を決める前に、地域がなりたいたい姿（ビジョン）を決めて住民一人ひとりが共有することが大事。